

大雨や暴風等に伴う臨時休業の判断に係るチェックシート

茨城県立石岡第二高等学校

【臨時休業を判断する際の留意点】

- 生徒の安全確保を最優先に考えているか
- 生徒の通学範囲等を考慮しているか
- 公共交通機関の運行見込みを考慮しているか
- 生徒を送迎する保護者の安全確保を考慮しているか
- 教職員の通勤時の安全確保を考慮しているか
- 気象状況の推移（警報級の可能性、雨量、風速、雨雲の流れ等）を確認しているか
 - 学校所在市町村
 - 隣接市町村
 - 児童生徒等の居住市町村
 - 生徒の通学経路に位置する市町村
 - 近隣河川の上流地域（浸水被害のリスクがある学校の場合）
- 代替日の設定が困難となる学校行事等の実施を優先していないか
- 安易に近隣校の対応に合わせていないか
- 早めの判断を心がけているか（特に土日等の休業日をはさむ場合）
- 臨時休業期間の設定に無理はないか

【臨時休業決定後の対応】

- 臨時休業の実施について関係者等へ連絡したか
 - 生徒
 - 保護者
 - 教職員
 - 来校予定関係者
 - 教育委員会
- 下校指導の際、生徒に対して注意喚起を行ったか
 - 通学路の危険箇所（冠水する可能性がある場所等）を確認しながら下校すること
 - 増水している河川には絶対に近づかないこと
 - 急斜面の崖などには絶対近づかないこと
 - 居住市町村の防災情報（避難指示等）を確認し、命を守る行動をすること
- 学校施設・設備、備品等について、暴風による飛散・破損の防止対策を講じたか

【通常登校時に気象状況が悪化した場合等の対応】

- 生徒が安全に帰宅できる状況か
- 学校待機させる場合、感染症対策を講じているか
- 帰宅方法を個別に判断しているか
 - 自力帰宅
 - 自身の保護者迎え要請
 - 保護者引渡し

〔考慮ポイント〕

 - 学校所在地域、生徒の通学経路や居住地域の気象状況
 - 帰宅方法や帰宅に要する時間
 - スクールバス運行の可否
 - 近隣河川の増水状況
 - 保護者の在宅状況
 - 防犯面の視点（夜の時間帯等）
 - 通学路等の安全（冠水・土砂崩れ等）
 - 公共交通機関の運行状況
 - 自宅のハザード状況
 - 迎えに来る保護者の安全

【平常時における備え】

- 学校版タイムライン（防災行動計画）を作成し、適宜見直しを図っているか
- 自校の臨時休業の判断基準等について、教職員の共通理解を図っているか
- 教職員に対する情報共有のタイミングと方法について整理しているか
- 防災気象情報の収集担当者を複数人定めているか
- 防災気象情報を「いつ」「どのような情報を」「どのような方法で」収集するか決めているか
- 校長不在時の連絡体制について確認しているか
- 保護者に対して必要な情報を周知しているか
 - 学校版タイムラインの内容
 - 臨時休業の判断基準
 - 非常時の引渡し方法
- 臨時休業の連絡体制は万全か（生徒、保護者、教職員、関係機関、教育委員会）
- 学校待機が長引いた場合に備え、備蓄物品を整備しているか
- 気象災害に関する校内研修を行っているか
- 「マイ・タイムライン」作成等の防災教育の実施に努めているか
- 学校が避難所になった場合に備えているか